



注: 以下は、KKR が 2024 年 9 月 25 日に米国 NY で配信したリリースの日本語訳です。

## KKR、ヘンリー・マクベイによるレポート「オルタナティブの視点: 過去、現在、そして未来」を発表 プライベート・エクイティを超えて拡大する プライベート・オルタナティブ・セクターの成長の可能性

世界有数の投資会社である KKR は、バランスシート CIO(最高投資責任者)兼グローバル・マクロ&アセット・アロケーション(GMAA)統括責任者のヘンリー・マクベイによるレポート「オルタナティブの視点: 過去、現在、そして未来」(原題「An Alternative Perspective: Past, Present, and Future」)を発表しました。

本レポートでは、マクベイおよび彼のチームが、プライベート・オルタナティブ市場が 1970 年代に端を発し、今日のグローバル規模の市場に至るまでの変遷について説明しています。また、オルタナティブ業界が成長と規模拡大を続ける中で、魅力的なリターンを確保するためには規律あるポートフォリオ構築が不可欠であると考え理由についても論じています。その中でも、一貫した運用ペースを保ち、ビンテージを分散させ、集中と流動性リスクを管理し、セクターやファクターの偏りを理解することの重要性を強調しています。

マクベイは次のように述べています。「将来を展望すると、オルタナティブ投資の将来は明るく、多くの成長機会があると考えています。しかし、オルタナティブ業界が平均以上のパフォーマンスを確実に達成するためには、いくつかの分野でさらなる進化が必要であるとみています。スケールはスケールを生みますが、それが優れたパフォーマンスを保証するわけではありません。今後数十年にわたって強固なポートフォリオを構築するためには、オルタナティブ投資の有無にかかわらず、異なる投資カテゴリー全体におけるポートフォリオ構築への理解を深めることがいっそう不可欠になると考えています」。

マクベイおよび彼のチームは、世界経済フォーラムが推計した世界で約 70 兆ドルに達する退職後の貯蓄不足のギャップを埋めるために、プライベート・オルタナティブがどのように貢献できるかについても論じています。さらに、近年、多くの先進国経済が多額の債務を抱えていることを踏まえ、インフラなどの重要な経済的投資にはプライベート・キャピタルが必要であると考えています。このような背景から、2028 年までに、プライベート・オルタナティブ市場は現在の推定額 24 兆ドルを上回る規模になる可能性が高いと予想しています。主な理由は以下の通りです。

- ソブリン・ウェルス・ファンドは、プライベート・マーケットへの配分を 2016 年の約 16%から 2024 年には約 26%に増やしていますが、今後もさらに増加する模様です。
- 個人投資家もオルタナティブ投資を活用するケースが増えており、今後 5 年間でさらに 1 兆ドルの個人資産がオルタナティブに投資される可能性があるとの試算があります。
- CIO がより強靱な「オールウェザーポートフォリオ」を構築すべく、流動性と非流動性の両方を活用することに重点を置くようになり、保険のバランスシートからの投資意欲が高まっています。
- プライベート・オルタナティブが最も急ピッチで成長しているアジアにおいて、プライベート・マーケットでの需要拡大が見込まれます。
- プライベート・エクイティの細分化が進んだことで、より多くのアロケーターに訴求するターゲットを絞った商品が増加し、オルタナティブへの資金流入が増加しています。
- アセット・ベースド・ファイナンスの増加等、ダイレクト・レンディング以外のプライベート・クレジットが拡大しています。
- 再生可能エネルギーの開発やブラウン企業のグリーントランスフォーメーションなど、世界的なエネルギー転換に必要な資金を調達するために、プライベート・キャピタルが必要となっています。

# KKR

- 再保険取引への直接投資を可能にする「資産クラスとしての保険」の台頭など、オルタナティブ市場の定義を拡大する新たな商品のイノベーションが進行しています。

本レポートでは、上記のようなオルタナティブ資産の成長とポートフォリオ構築に関する洞察に加え、プライベート・オルタナティブ業界の動向を考察し、プライベート・オルタナティブ戦略のリターン、リスク、分散効果に焦点を当て、これらのアセット・クラスに影響を与えうる潜在的リスクについても説明しています。

今回のレポート全文およびヘンリー・マクベイの過去のレポート(英語原文)は以下からご覧いただけます。

- 最新のレポートをご覧になるには、[こちら](#)をクリックしてください。
- 「2024 Macro Mid-Year Global Macro Outlook」をご覧になるには、[こちら](#)をクリックしてください。
- 過去のレポートはこちらをご覧ください [www.KKRInsights.com](http://www.KKRInsights.com)。

## ヘンリー・マクベイについて

2011年KKRに入社、現在はグローバル・マクロ、バランスシート、リスクチームの責任者。KKRのバランスシートのCIO(最高投資責任者)として、KKRの事業全体にかかる市場リスクをモニターしています。また、戦略的パートナーシップ・イニシアチブの共同責任者も務めています。現在、KKRのグローバル・オペレーティング委員会およびリスク&オペレーション委員会のメンバーです。KKR入社前は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント(MSIM)においてマネージング・ディレクター、リード・ポートフォリオマネージャー、グローバル・マクロおよび資産配分の責任者を務めていました。詳細略歴は[こちら](#)をご覧ください。

## KKRについて

グローバル投資運用会社であるKKR(NY 証取:KKR)は、オルタナティブ・アセット・マネジメント、キャピタル・マーケット、保険ソリューションを提供しています。長期的かつ規律ある投資アプローチを採用し、世界トップクラスの人材を投じてポートフォリオ企業やコミュニティの成長を支援し魅力的な投資リターンを創出することを目指しています。KKRはプライベート・エクイティ、クレジット、実物資産に投資する投資ファンドのスポンサーとなっており、また、ヘッジファンドを運用する戦略的パートナーを有しています。KKRの保険子会社グローバル・アトランティック・ファイナンシャル・グループ管理下で退職金、生命保険、再保険商品を提供しています。KKRの投資に関する記述にはKKRがスポンサーとなっているファンド及び保険子会社による活動が含まれる場合があります。KKRについては[www.kkr.com](http://www.kkr.com)をご参照ください。また、グローバル・アトランティック・ファイナンシャル・グループについては[www.globalatlantic.com](http://www.globalatlantic.com)をご参照ください。

## お問い合わせ

FGS グローバル [KKR-TYO@fgsglobal.com](mailto:KKR-TYO@fgsglobal.com)  
服部 070-7484-7703 / 浅野 070-7425-8483

## 注意事項

*The views expressed in the report and summarized herein are the personal views of Henry McVey of KKR and do not necessarily reflect the views of KKR or the strategies and products that KKR manages or offers. Nothing contained herein constitutes investment, legal, tax or other advice nor is it to be relied on in making an investment decision or any other decision. This release is prepared solely for information purposes and should not be viewed as a current, past or future recommendation or a solicitation of an offer to buy or sell any securities or to adopt any investment strategy. This release contains forward-looking statements, which are based on beliefs, assumptions and expectations that may change as a result of many possible events or factors. If a change occurs, actual results may vary materially from those expressed in the forward-looking statements. All forward-looking statements speak only as of the date such statements are made, and neither KKR nor Mr. McVey assumes any duty to update such statements except as required by law.*